※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０７

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」　（日文出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実際に本物を目で見て季節や光、匂いを感じとり「絵画・彫刻」で表現する。
　また、目的や機能から考える「デザイン」、伝統的な技術を身につける「工芸」、感じ取ったことを考える「映像メディア表現」「鑑賞」の分野について学習します。
・自分なりの感じ方や見方、表現を深め、１年次よりも更に感性を高めてほしいです。

２　学習の到達目標

・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫など自分なりに捉えることを理解する。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表しているか。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	美術について	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、1年次で学んだ内容について振り返り、美術Ⅱの学習イメージを持つ。 ・クロッキー	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習意欲を高める b:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。 c:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫して、クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品
	運動靴の描写	【絵画】 ・運動靴の描写 運動靴を構成し画用紙に描く。 靴紐の細かい所までよく観察して描く。 体育の授業で汚れている様も描く。	a:構図や表情、線の強弱の効果、全体のイメージなどを捉え、特性を生かして表すことができたか b:人物の印象などをもとに、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする c:自己や他者の内面を人物画に表す創造活動に、主体的に取り組むことができたか	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品
	紙の特性について	【デザイン】 ・紙を生かして立体アート ・飛び出るカード 紙の特性をしる。破れやすいが重ねると強い。などを理解し立体が飛び出るカードをつくる。	a:紙の特性に関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:　条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:　表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品

※令和４年度以降入学生用

	文様について	【デザイン】【工芸】 ・文様について知る ・文様を考える ・織る 装飾文様について知り、一定のパターンの繰り返し文様を考える。 木枠をつかって文様を織る	a:世界の伝統的な文様について関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。 b:パターンをよく理解して美しさ色彩を考える。 ｃ：伝統的な装飾を理解した上で、独創的な文様を考え表現方法を工夫している。	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品
	想像上の生物をつくる	【絵画　彫刻】 ・アイデアスケッチ ・制作 ダンボール・廃材・木材などを使ってスケッチ通りの形をつくり、削るなどして細部までつくる 更に細部をつくり込む。 相互鑑賞	a:ダンボール・木材などの特性を生かし、表現方法を工夫して作品について理解を深めている b:スケッチをもとに目的や機能、美しさなどから創造的な表現の構想を練っている。 ｃ:表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品
	ピカピカアニメーション	【映像アニメーション表現】 【鑑賞】 ・班で4コマ漫画を考える ・光のお絵かきを班で撮影する ピカピカの原理をよく理解して、簡単なアニメーションを考え、班で協力して撮影する。 【鑑賞】 ・1年間の作品の中から展示する作品を選択する。 ・作品説明や展覧会名等を考え、キャプション等を作る。 ・ミニ展覧会を開き、展覧会の意図等を説明し合う。	a:アニメーションの原理を理解し、興味を持って取り組む。 b:班で考えた漫画をもとに目的や機能、美しさなどから創造的な表現の構想を練っている。 ｃ:他の人の意見も尊重して表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度